

平成 25 年度 決算のお知らせ

経常収支で約 1 億 5 千万円の黒字決算となりました。

収入総額	48 億 1,426 万円	(経常収入 43 億 3,155 万 9 千円)
支出総額	42 億 4,030 万円	(経常支出 41 億 7,707 万 3 千円)
決算残金	5 億 7,396 万円	(経常収支差引額 1 億 5,448 万 6 千円)

健康保険

当健保組合の平成25年度決算は、収入総額48億1,426万円、支出総額42億4,030万円となり、収支差引では5億7,396万円の残金が生じ、実質的な収支状況を示す経常収支差引でも1億5,449万円の黒字となりました。収支差引は、ほぼ全額を別途積立金として保有し、将来の支出増に備えます。

健保組合の主たる収入である保険料は、前年度比452万円減の43億1,365万円となりました。

一方、支出面は、皆さまの医療費にあてられる保険給付費が前年度比2,127万円減の19億8,024万円、高齢者医療費を賄うために拠出する納付金が前年度比4,784万円増の17億8,442万円となりました。

当健保組合の平成25年度決算は幸い黒字となったものの、健保組合を取り巻く状況は依然

として厳しく、平成26年度の全国の健保組合予算集計では、全体の約8割が経常赤字、赤字総額は3,689億円となり、現行の高齢者医療制度が創設された平成20年度からの7年間の累計赤字額は約2兆7,300億円に上る見通しです。先行き不透明な経済情勢が続くなか、増え続ける納付金に被保険者の負担は限界に達し、解散に追い込まれる健保組合も出てきています。

当健保組合としましては、今後も効果的かつ効率的な健康づくり事業を展開し、皆さまの健康維持をサポートすることで医療費の増加抑制を図ってまいります。また、医療保険制度の中核をなす存在として、国民皆保険制度の維持・発展に向けて、高齢者医療費の偏った負担構造を見直すよう健康保険組合連合会と協力して国に働きかけていく方針です（裏表紙をご参照のうえ、皆さまのご協力をお願いいたします）。

決算基礎数値 決算の基礎となった数値は次のとおりです。

被保険者数……………9,833 人	総標準賞与額…………… 89 億 2,487 万 8 千円
被扶養者数……………6,978 人	保険料率（調整保険料率を含む）…… 90 / 1000
標準報酬月額………33 万 8,595 円	

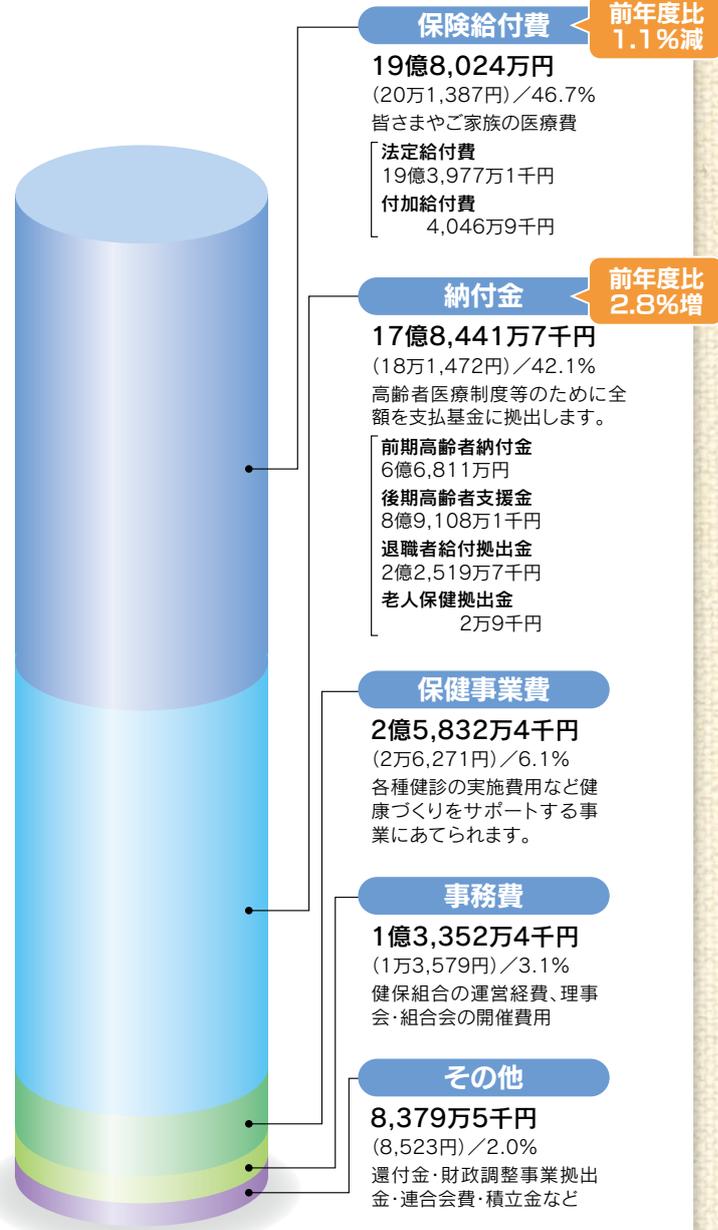
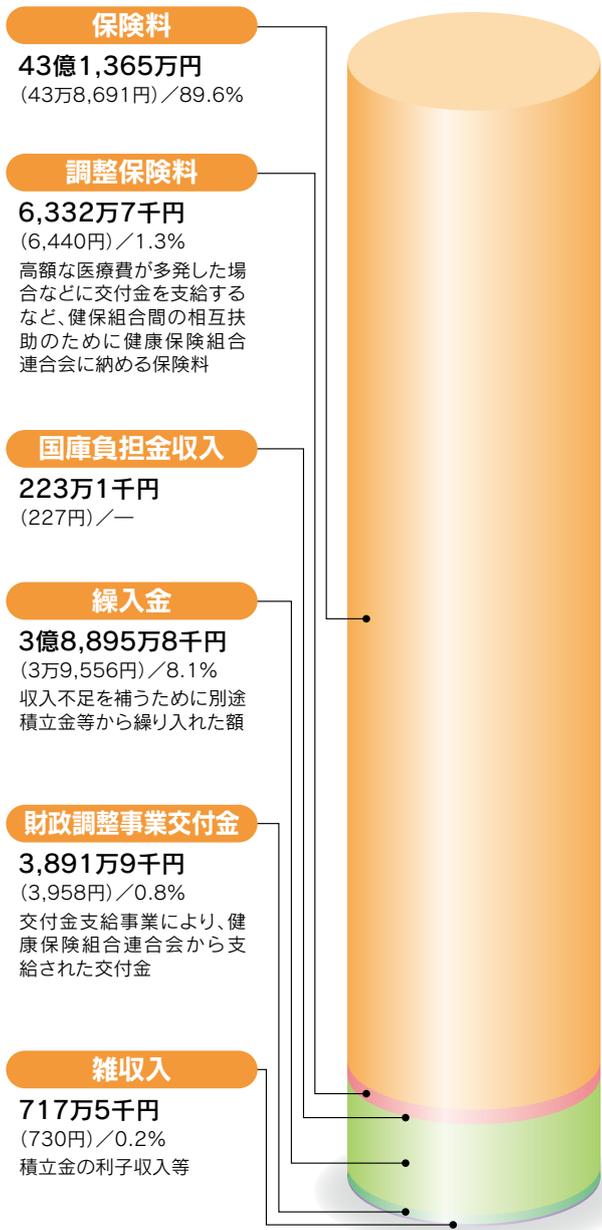
収入

収入総額
48億1,426万円
(48万9,602円)

支出

支出総額
42億4,030万円
(43万1,232円)

()内は「被保険者1人当たり額」
%は「総額に対する割合」



介護保険

健保組合では、40～64歳の被保険者（介護保険第2号被保険者）から介護保険料を国に代わって徴収し、国に納付しております。

平成25年度は、国へ納める介護納付金3億1,915万円に対し、介護保険収入は4億476万円となりました。収支差引額1億1,565万円は全額を準備金に積み立て、将来の支出増に備えます。

収入

科目	決算額(千円)	介護保険第2号被保険者1人当たり額(円)
介護保険収入	404,762	96,602
繰入金	30,000	7,160
雑収入	42	10
合計	434,804	103,772

支出

科目	決算額(千円)	介護保険第2号被保険者1人当たり額(円)
介護納付金	319,153	76,170
介護保険料還付金	3	1
合計	319,156	76,171